

しあわせなろう

易きに流されるな!!!

さあやるぞ!と気合を入れて始まった三年生。学習に部活動に修学旅行の取組に、みなさん前向きに頑張っていますね。しかし、月日が経つにつれて、「もうやめようかな…」「やっても一緒や…」というあきらめの気持ちが、一人ひとりの心を揺さぶり始めたりします。6月から夏休みにかけて第一の山が来るでしょう。それに、もうひとつ、「何とかなるだろう…」という安易な気持ちが出てくるのもこの頃です。人間は楽な方へ流されがちです。

楽しんで夢や進路を実現させようと思っても、思い通りにはなりません。これから先、もしこのような気持ちが起こってしまったとしても、それに負けない強い意志を奮い立たせて頑張してほしいものです。

何とかなる???(田中新吾 RANGERより)

「何とかなるでしょ」

こういう楽観的な思考は、生きていくうえで不可欠だと思います。なぜなら、このような思考がなければ、未来の不安に対して心がもたないから。実際、僕個人も「何とかなるでしょ」と、楽観的に考えることは結構あります。

これはたぶん昔と比べて自分にできることが増えたことや安全で安心できて、便利でいつでもひとと繋がることができる社会で生きていることなどが強く関係しているのではないかと思います。

「何とかならない」と思うことが多かった昔と比べて明らかに感覚が変わってしまいました。そして、この先は今よりももっとこの感覚が強化されていくような気がしています。

何とかなるの留意点

「何とかなるでしょ」と楽観的に考えることは悪いことではないですが、十分に留意しておいた方がいい点はあると思います。

それは「何とかなるでしょ」と思う前には「やるだけやったから」がないと自分を苦しめるということです。

基本的に「何とかなるでしょ」は「やるだけやったから」とセットであるべきだと僕は考えます。考えられうるあらゆる事態に可能なかぎり対処して、もうこれ以上はできない、というところまで来た時に「何とかなるでしょ」と思えばいいことなのかと。

でも、ときどき「何とかなるでしょ」と思う中には「やるだけやったから」がくっついていない場合

があるんです。そして、この時の「何とかなるでしょ」には絶対に注意した方がいいと思います。「やるだけやったから」がないということは、何もせずに自分にとって何かいい事が起こることを期待するのと同じです。これで期待どおりに何かが起こればいいですが、何もやっていないので起こるはずがありません。

そして、この状態のまま時間が経過し、結果が近づいてくればくるほど、不安な気持ちが助長され、自信も萎み、期待ができなくなっていくます。そして当然ですが、何とかなりません。

人事を尽くして天命を待つ

今の世の中は、安全と安心というベースの上に、便利が重なった結果、多くのことが「何とかなる」ようになったと思います。でもこの影響で「やるだけやったから」という本来あって然るべき重要な部分が軽視されているようにも思います。『人事を尽くして天命を待つ。』改めてこの言葉の重みを感じている今日この頃です。

達成への道<Part2> どう実行するか

(2) 集団生活のルールやマナーを守り、思いやりの心を大切にした、

互いに支え合える学年をつくろう。

集団生活の中で、誰もが楽しく過ごせるためにルールやマナーがあります。集団生活では、自分の周囲の人への思いやりが大切です。相手の気持ちを考え、支え合えるようになることは、これから先とても大切なことなのです。

- ◆互いの立場を理解し、仲間を思いやろう。
- ◆「今、何をすべきか」ということに気づき、分別ある行動をとろう。
- ◆周囲の迷惑行為に気づいたら、進んで正していこう。
- ◆善悪の判断をし、責任ある行動をとろう。
- ◆自分の役割を理解し、進んで実行しよう。
- ◆リーダーの気持ちを理解し、進んで協力しよう。
- ◆SHRやHR、朝読書を大切に、リーダーを中心に日常の活動を自分たちの力でやりきろう。

毎学ノート終了 継続は力なり

~4月17日

4冊目…③〇〇〇〇

3冊目…③〇〇〇〇

2冊目…③〇〇〇〇

1冊目…②〇〇〇〇 ③〇〇〇〇 ⑥〇〇〇〇 ⑥〇〇〇〇 ⑥〇〇〇〇 ⑥〇〇〇〇

⑦〇〇〇〇